

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 内外テック株式会社
 コード番号 3374 URL <http://www.naigaitec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 権田 浩一
 (氏名) 米澤 秀記

TEL 03-5433-1123

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	3,867	△53.9	△226	—	△239	—	△187	—
21年3月期第2四半期	8,386	—	△126	—	△145	—	△165	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△38.48	—
21年3月期第2四半期	△32.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	7,199	1,001	13.9	205.79
21年3月期	7,517	1,170	15.6	240.56

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,001百万円 21年3月期 1,170百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△27.2	△172	—	△197	—	△150	—	△30.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	5,072,000株	21年3月期	5,072,000株
---------------------	-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	205,597株	21年3月期	205,597株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	4,866,403株	21年3月期第2四半期	5,070,074株
----------------------	-------------	------------	-------------	------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 通期の業績予想につきましては、平成21年11月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。
なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部で景気に底入れの兆しが見られ始めたものの、世界同時不況の影響を受け、依然として企業の設備投資の抑制や雇用情勢の悪化さらに個人消費の低迷が続き、厳しい状況で推移しました。

当社グループの主な取引先である半導体業界や半導体製造装置業界におきましては、半導体デバイスの需要が回復基調となりましたが、価格低迷や大幅な在庫調整等の影響により、半導体メーカーの設備投資が抑制・削減される状況が続いているため、本格的な回復までには時間がかかることが予想されております。

こうした経営環境のもと、当社グループでは、前年度に実施した事業再編後の新しい体制のもとで原価改善ならびに販売費・一般管理費の削減を図るとともに、営業販売活動の強化により受注獲得の取り組みを行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間での売上高は、取引先の投資抑制等の影響により38億67百万円（前年同期比53.9%減）となりました。損益面では、売上高の不振により営業損失2億26百万円（前年同期は営業損失1億26百万円）、経常損失2億39百万円（前年同期は経常損失1億45百万円）となり、また、特別利益56百万円を計上しましたが、四半期純損失1億87百万円（前年同期は四半期純損失1億65百万円）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間（7月～9月）での売上高は23億35百万円、営業損失41百万円、経常損失45百万円、四半期純損失47百万円となり、前四半期連結会計期間（4月～6月）に比べ、売上高や損益面は改善いたしました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①販売事業

電子機器・機械装置の販売事業におきましては、半導体メーカーの投資延期や凍結等により、売上高33億16百万円（前年同期比54.4%減）となり、また取引先からのコストダウン要請や売上の不振により、営業損失2億8百万円（前年同期は営業損失33百万円）となりました。

②受託製造事業

電子機器・機械装置の組立等の受託製造事業におきましては、取引先からの受注の先送りやキャンセルが発生したこと、連結子会社1社の事業を平成21年2月末日で休止したことの影響により、売上高7億30百万円（前年同期比55.8%減）となり、また事業再編の実施により営業損益は、営業損失35百万円（前年同期は営業損失1億13百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億17百万円減少し、71億99百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1億39百万円増加したのに対し、売上高減少に伴う受取手形及び売掛金が3億37百万円の減少等により流動資産が3億30百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1億48百万円減少し、61億98百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加等により固定負債が2億82百万円増加したのに対し、仕入高減少に伴う支払手形及び買掛金、その他（事業再編に伴う未払割増退職金の支払等未払費用の減少額等）の減少等により流動負債が4億30百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億69百万円減少し、10億1百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が当四半期純損失により1億87百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ15.6%から13.9%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加（前年同期は3億70百万円の減少）し、16億88百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は2億11百万円（前年同期は5億77百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失1億82百万円、仕入債務の減少額1億77百万円及びその他減少額2億38百万円（未払割増退職金の支払等未払費用の減少額等）の減少要因があった一方、売上債権の減少額3億36百万円等の増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億47百万円(前年同期は2億21百万円の使用)となりました。これは主として定期預金の現金同等物からの預入期間変更による増加額89百万円及び定期預金の担保差入れによる増加額51百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は3億66百万円(前年同期は4億29百万円の増加)となりました。これは主として短期及び長期借入金の純増額4億7百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の連結業績につきましては、国内景気は、最悪期から脱しつつあると見られますが、世界経済の先行き不透明感が払拭されないこともあり、全体的には依然として厳しい状況が続いており、また、半導体業界や半導体製造装置業界におきましても、半導体メーカーの設備投資が引き続き抑制・削減されており、需要回復までには相当の時間がかかるものと予想されています。

このような環境下、通期の業績予想につきましては、平成21年11月10日に発表した「業績予想の修正に関するお知らせ」において、下記の修正をいたしました。

<ご参考>

(平成22年3月期通期連結業績見直し)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	11,600	95	55	45
今回修正予想(B)	10,000	△172	△197	△150
増減額(B) - (A)	△1,600	△267	△252	△195

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,115,153	1,975,820
受取手形及び売掛金	2,333,591	2,671,290
商品及び製品	343,049	344,430
仕掛品	27,979	20,551
原材料及び貯蔵品	104,161	117,648
未収還付法人税等	612	87,542
その他	42,879	81,970
貸倒引当金	△3,115	△3,971
流動資産合計	4,964,311	5,295,281
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,111,902	1,111,902
その他(純額)	401,954	425,038
有形固定資産合計	1,513,857	1,536,941
無形固定資産		
投資その他の資産	18,877	18,590
その他	715,397	678,257
貸倒引当金	△12,671	△11,677
投資その他の資産合計	702,726	666,580
固定資産合計	2,235,460	2,222,111
資産合計	7,199,772	7,517,393
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,405,698	2,583,675
短期借入金	—	30,000
1年内返済予定の長期借入金	965,483	843,450
未払法人税等	5,484	4,936
賞与引当金	236	1,900
事業再編損失引当金	2,791	14,600
その他	175,265	507,012
流動負債合計	3,554,958	3,985,573
固定負債		
社債	—	40,000
長期借入金	2,065,383	1,749,973
退職給付引当金	465,994	466,102
長期未払金	96,443	96,443
その他	15,530	8,637
固定負債合計	2,643,351	2,361,157
負債合計	6,198,310	6,346,731

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,928	389,928
資本剰余金	322,078	322,078
利益剰余金	304,738	491,977
自己株式	△28,254	△28,254
株主資本合計	988,489	1,175,729
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,972	△5,067
評価・換算差額等合計	12,972	△5,067
純資産合計	1,001,462	1,170,662
負債純資産合計	7,199,772	7,517,393

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	8,386,481	3,867,279
売上原価	7,664,165	3,523,353
売上総利益	722,315	343,926
販売費及び一般管理費	848,590	569,953
営業損失(△)	△126,274	△226,026
営業外収益		
受取利息	4,472	2,414
受取配当金	2,087	1,692
仕入割引	3,783	1,390
助成金収入	—	9,242
その他	7,549	10,981
営業外収益合計	17,892	25,722
営業外費用		
支払利息	32,054	36,350
その他	4,847	2,682
営業外費用合計	36,902	39,032
経常損失(△)	△145,285	△239,337
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,450
役員退職慰労未払金戻入益	—	53,362
その他	—	1,186
特別利益合計	—	56,998
特別損失		
減損損失	43,670	509
特別損失合計	43,670	509
税金等調整前四半期純損失(△)	△188,955	△182,847
法人税等	△23,758	4,391
四半期純損失(△)	△165,196	△187,239

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△188,955	△182,847
減価償却費	44,070	26,511
減損損失	43,670	509
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△160	137
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,655	△1,664
退職給付引当金の増減額(△は減少)	27,965	△108
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△177,754	—
長期未払金の増減額(△は減少)	179,484	—
事業再編損失引当金の増減額(△は減少)	—	△11,808
受取利息及び受取配当金	△6,559	△4,107
支払利息	32,054	36,350
役員退職慰労未払金戻入益	—	△53,362
売上債権の増減額(△は増加)	△215,825	336,705
たな卸資産の増減額(△は増加)	△28,832	7,438
仕入債務の増減額(△は減少)	△171,370	△177,976
その他	49,563	△238,597
小計	△449,303	△262,820
利息及び配当金の受取額	6,253	4,325
利息の支払額	△31,670	△37,083
法人税等の支払額	△103,190	△2,499
法人税等の還付額	—	86,930
営業活動によるキャッシュ・フロー	△577,910	△211,147
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△190,155	△89,453
定期預金の払戻による収入	38,669	—
担保預金の預入による支出	—	△51,941
有形及び無形固定資産の取得による支出	△52,596	△1,557
有形固定資産の売却による収入	1,529	—
投資有価証券の取得による支出	△1,545	△1,586
投資有価証券の売却による収入	—	174
その他	△17,799	△3,576
投資活動によるキャッシュ・フロー	△221,899	△147,940

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	515,000	—
短期借入金の返済による支出	△495,000	△30,000
長期借入れによる収入	900,000	1,360,000
長期借入金の返済による支出	△379,284	△922,556
社債の償還による支出	△60,000	△40,000
リース債務の返済による支出	—	△1,410
自己株式の取得による支出	△571	—
配当金の支払額	△50,702	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	429,440	366,033
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△370,366	6,938
現金及び現金同等物の期首残高	2,806,376	1,681,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,436,010	1,688,016

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	販売事業 (千円)	受託製造事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,216,773	1,169,707	8,386,481	—	8,386,481
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	57,719	483,830	541,549	(541,549)	—
計	7,274,492	1,653,537	8,928,030	(541,549)	8,386,481
営業利益又は営業損失(△)	△33,711	△113,437	△147,148	20,874	△126,274

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	販売事業 (千円)	受託製造事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,313,608	553,670	3,867,279	—	3,867,279
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,723	176,785	179,509	(179,509)	—
計	3,316,331	730,456	4,046,788	(179,509)	3,867,279
営業利益又は営業損失(△)	△208,153	△35,493	△243,646	17,620	△226,026

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。